

# おれんじ通信 第4号

## ～認知症施策の発展のために～

平成 31 (2019) 年 2 月 28 日

### ☆中央の動き

○**内閣官房**：認知症の諸課題について、関係行政機関の緊密な連携の下、政府一体となって総合的な対策を推進するため、**認知症施策推進関係閣僚会議**（議長：内閣官房長官）を設置し、諸外国の取組みもにらみながら、認知症施策に関する「大綱」を現在策定中。会議下には、幹事会、有識者会議、専門委員会が置かれている。検討のベースは、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）と成年後見制度利用促進基本計画で、キーワードは「共生」と「予防」となっています。

### ☆河内長野市医師会の活動（振り返りも含めて・温故知新）

☆**認知症診療に関するアンケート調査**：平成 29 年 9 月～10 月実施（開業の医師会員対象）・回答率 81%

- ①質問項目：認知症を疑う患者さんの受診者数、認知症を疑った場合の対処や困り事、物忘れ相談の対処、認知症サポート医師や認知症疾患医療センターとの連携・相談度合など。
- ②主な意見：(a)患者さんに病識がなく、家族が遠方に在住の場合、支援に難渋することがある。(b)支援困難な方の入院の受け入れ病院を探すことが難しい。(c)支援している患者さんに関し、どのような介護介入がされているのかが不明。(d)かかりつけ医、認知症サポート医、専門医、コメディカルとの連携が必要など。(e)行政の活動がないため、システムが周知されていないと思うなど。
- ③講評・まとめ・対応(当時) ⇒今後の方向性として、診診連携、病診連携の充実が挙げられる。
  - (1)1か月間に外来で認知症を疑う患者さんは10人未満が最も多く、20人以上も15診療所あった。
  - (2)家族からの相談には専門医療機関の紹介、介護保険の申請を勧めるとの回答が多かったが、地域包括支援センターに連絡するという回答は14.5%と少なかった。また、患者さんの物忘れに気が付いた場合は家族に連絡して、自院もしくは専門医療機関と連携して診断をつけるという回答が多かったが、地域包括支援センターと連携をとるとの回答は12.7%と少なかった。
  - (3)認知症を疑った場合、薬の管理や服薬状況、検査結果の理解等について医師が不安を持つことが多く、入院の受け入れ先を探すにも困難を感じている。また、患者家族との連携の難しさも感じている。
  - (4)患者さんにどのような介護の介入がなされているのかわからない、サービス担当者会議への参加要請が少ないといった介護との連携の不足の指摘がある。
  - (5)認知症疾患医療センターや認知症サポート医と連携したことがなく、おれんじチームも知らなかったという回答が半数以上あった。
  - (6)認知症は、全ての医療機関の診療に重大な影響を及ぼしかねない疾患。今後も医療・介護の知恵を結集して対処してゆくことが求められている。

※平成 30 年度、「認知症に関する医療介護連携フローチャート」等を作成し、周知・啓発に努めました。また、認知症初期集中支援推進事業へ参画しました(今年度で終了)。

◎**認知症部会**：2月 28 日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室) 参加13名

第1回が開催されました。認知症施策に関する経過報告の他、本部会の今後の方向性等について意見交換、確認がありました。また、試行的に事例検討を行いました(次回からは本格的に実施予定)。なお、第2回は3月 28 日(木)、第3回は4月 18 日(木)、いずれも午後3時からの開催になりました。(別紙)

◎認知症や成年後見のことなどで、気になることがありましたら、地域連携室迄ご連絡下さい。

## ◇認知症介護の格言“3つの「かける」”

⇒「笑顔で話しかける」・「肩に手をかける」・「気にかける」

### ●河内長野市における認知症施策の状況(予定含む)

■平成 30 年度認知症初期集中支援推進事業への参画状況:山口看護師が全てに参加し、支援、助言等を行いました。 <下記①の( )内は、参加の認知症サポート医>

①チーム員会議(於・河内長野市医師会地域連携室)⇒4月 23 日(横内・児島)、5月 28 日(児島・山上)、6月 18 日(石倉・横内)、7月 23 日(児島・山上)、8月 27 日(横内・山上)、9月 10 日(児島・山上)、10月 1 日(石倉・横内)・22 日(石倉・山上)、12 月 17 日(横内・山上)、1月 21 日(石倉・児島)、2月 18 日(横内・山上)、3月 11 日(石倉・横内)・25 日(児島・山上)に開催。<敬称略>

なお、5月 14 日、7月 9 日、8月 6 日、11 月 12 日、12 月 3 日は中止。(以上、いずれも月曜日)

②個別チーム員会議(地域包括支援センター毎)⇒3月 22 日(木)東部、4月 2 日(月)西部、4月 13 日(金)中部、5月 8 日(月)西部、6月 1 日(金)西部、7月 2 日(月)西部、8月 2 日(木)西部、9月 7 日(金)西部、10 月 5 日(金)西部、11 月 8 日(木)西部、12 月 5 日(水)西部、1月 9 日(水)西部、2月 8 日(金)西部、3月 1 日(金)西部で開催。

③チーム員活動⇒4月 11 日(水)西部<自宅訪問>・東部<情報共有>、13 日(金)西部<アセスメント>、21 日(土)中部<施設訪問>、24 日(火)東部<自宅訪問>。5月 11 日(金)西部<自宅訪問>、16 日(水)東部<自宅訪問等>、21 日(月)中部<情報提供>、22 日(火)中部<情報提供>、29 日(火)中部<自宅訪問>。6月 4 日(月)中部<自宅訪問>、11 日(月)東部<自宅訪問>・中部<情報提供>、12 日(火)東部<情報提供>、19 日(火)東部<自宅訪問>、22 日(金)中部<自宅訪問>、25 日(月)東部<自宅訪問>・中部<情報提供>、28 日(木)中部<自宅訪問>。7月 5 日(木)東部<自宅訪問>、11 日(水)西部<情報提供>、14 日(土)東部<同行受診>、25 日(水)西部<自宅訪問>、26 日(木)東部<自宅訪問>。8月 4 日(土)東部<自宅訪問>、8 日(水)中部<自宅訪問>、10 日(金)西部<自宅訪問>。9月 10 日(月)西部<自宅訪問>、12 日(水)西部<自宅訪問>、13 日(木)西部<医師との懇談>、14 日(金)西部<医師との懇談>。10 月 19 日(金)東部<おれんじカフェ同行>、30 日(火)東部<情報提供>。11 月 13 日(火)西部<自宅訪問>、21 日(水)西部<ミスノクリニック運動教室同行>。1月 28 日(月)東部<自宅訪問2件>。2月 6 日(水)東部<受診時の面談>。

■来年度の認知症初期集中支援推進事業への参画状況予定:山口看護師の参加はありません。なお、認知症サポート医の先生は、チーム員会議に参加されます。

■おれんじ会議(認知症地域連携連絡会を改称):認知症における地域課題の検討、情報交換等を行うために、設置されました。3月 18 日(月)には、最後の認知症地域連携連絡会が開催され、ほんわからぶ(本人ミーティング)の活動報告等の予定です。

■認知症地域支援推進員:市町村毎に、地域包括支援センター、市町村、認知症疾患医療センター等に配置され、医療機関、介護サービス、地域の支援機関等の連携を図り、認知症の方や家族を支援する相談業務等を行います。河内長野市には、地域包括支援センター毎に配置(計3名)されています。

■認知症パートナー:河内長野市主催の4日間の養成講座を受講した認知症の(市独自の)ボランティアです。現在 77 名の登録があり、「おれんじ(認知症)カフェ」のスタッフや介護保険施設の傾聴ボランティア等で活躍されています。原則として、毎月第3木曜日に、「定例会」が行われています。